

実施日：2022年8月20日（土）17:00～20:00

参加者：13名

学生：4名

教職員：杉山、中澤、中城

学外参加者：5名

■実施場所：東大寺境内・春日山原始林

■第5回 奈良公園の夕暮れ～夜（東大寺境内・春日山原始林）

概要：夕暮れ、ひとけのない東大寺境内周辺を歩きます。毎年3月にお水取り（修二会）の行われる二月堂からの夕暮れを眺めたのち、夜の春日山遊歩道にも足を踏み入れます。

17:00 浮雲園地集合・挨拶・体操

17:10 東大寺境内（南大門・鐘楼・二月堂）

18:30 手向山八幡～若草山山麓～春日山遊歩道

19:00 春日山遊歩道（北部）

19:30 遊歩道折り返し

20:00 浮雲園地にて解散

### ■概要報告

「夕暮れの奈良公園を散策し、夜の春日山を体験する」という予定であったが、天候は曇り時々雨の予報。1日曇り空で少し蒸し暑い1日であった。途中雨の予定であったが、決行した。

参加者は、学生以外にも教職員やそのご家族の総勢12名であった。

簡単な自己紹介と準備体操後、浮雲園地にこれまで生えていたナンキンハゼが伐採され、黒松が植栽されていることを確認。奈良公園の景観を名勝指定当時に復元することを目的に奈良県によって進められていることを説明。合わせて、外来種ナンキンハゼの実生が既に周辺に発生しており、人手をかけて駆除が必要であることを確認した。また、周辺にいたシカに対してナンキンハゼの葉を与えようとしても、食べないことを確認した。また、周辺の樹木に見られるシカの影響も確認した。

東大寺南大門では、中澤先生より南大門に関する解説（大仏様、金剛力士像、西側の土堀跡、石獅子像）、中門の兜跋毘沙門天に関する解説もいただいた。

そこから鐘楼へ上がるくらいから雨が少しずつ降り出してきたため足速に二月堂へ。二月堂の階段では、下から数段と上から数段に線刻された紋様があるのを確認。また中頃にある模様（十字と菱形）も確認した。二月堂からは、ゆっくりと奈良の風景を眺めて時間を過ごした。

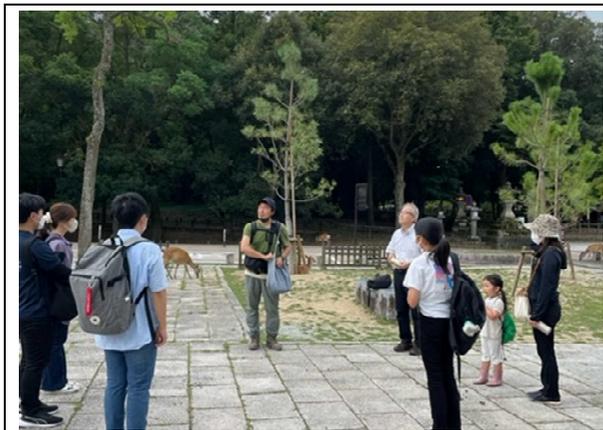
夕暮れとはいかなかったが、涼しい風が吹き、奈良の風景をみながらゆったりとした時間を過ごすことができた。その後、日が傾きかける時間で二月堂から手向山八幡、若草山山麓を歩いて春日山遊歩道まで移動。

春日山遊歩道では、小雨が降り続けている状況であったが、暗い中をライトで照らしながら散策。途中、遊歩道から見えるムクノキの大木の裏にアナグマが顔を出した。また、昼の森とは異なる雰囲気

を感じながらゆっくりと歩き夜の森を体感した。ある程度雨が凌げる場所まで移動したのち、少しの時間ライトを消して過ごす時間を作って森の気配を感じる時間を設けた。その後、元来た道を折り返し、浮雲園地にて解散とした。

参加者は、夜の春日山は一人では入れないので怖かったけど面白かった。森で寝転んだのが気持ちよかった。などの感想であった。季節的にも暖かかったため、多少の雨であれば実施可能であることを再確認することができた。

## ■写真



はじめの挨拶



植栽されたサクラ。シカの樹皮剥防止の網付き



南大門にて中澤先生解説



二月堂